

## 企業改革

黒田インターナショナル

黒田 毅

人員の大幅削減は、IT システムの構築とインダストリー4.0 における企業構築において、新しい就業スタイル、在宅勤務とフレックスな環境の導入において、高いコスト効率性を構築できる。

また作業効率性基準の大幅な引き上げは、企業のシステム化を行い、その高い効率性における安定した利益性を構築する。

企業活動の全てのデータ化と IT システムにおける管理は、新しい企業経営への転換を行う。

製品流通の管理は、IT システムにおける製品と顧客管理を求め、世界市場における製品の流通環境を構築する。これらはオンタイムにおける製品の納入を行うものである。

製品原価に対して、その利益率の引き下げは、製品サービスにおける価格アドバンテージにおいて、世界市場における標準化を求められる。

製品数量の管理は、数量比における利益の構築を適正化し、世界市場における販売網を自社単独もしくは、外部委託において構築する。

これらは企業効率性基準の大幅な転換における企業改革のビジョンであり、これら企業環境は自社における利益の適正化と安定化を実現できるはずであり、世界市場のグローバル化は、統一基準における世界市場への参加を実現しなくてはならない。